

# 釜石高校SSH通信

岩手県立釜石高等学校SSH推進室

平成31年2月22日（金）発行

～SS理数探究・研究成果報告会～

## 【SS理数探究発表会・研究成果報告会 in TETTO】

2月21日(木)釜石市市民ホール（TETTO）において、SS理数探究発表会・研究成果報告会を行いました。これまでは学校で行っていた研究成果報告会でしたが、もっと多くの方々に釜石高校について知ってもらいたい、生徒がどのようなことに興味を抱き、どのようなことに取り組んでいるのかを知ってもらいたい、という強い思いから、多くの市民の方々に気軽に足を運んでいただけるよう、初めて釜石市市民ホール（TETTO）で開催しました。

「今年度の探究活動の集大成を広く地域の方々にも報告しよう！」と、どのゼミもこの日にあわせてポスター作成や発表練習などに取り組んできました。当日は、釜石中学校の3年生45名や地域の皆さん、大学院生の方々にも多く来場していただき、生徒の発表に耳を傾けていただきました。

今年度は地歴公民（高橋ゼミ）の3年生の「南部藩の起源を探る～虎舞はどこで生まれ、どのように広まっていったのか～」が奈良大学で行われた第12回全国高校生歴史フォーラム優秀賞・知事賞を受賞するという快挙を成し遂げました。前半の口頭発表では、1、2年生を前に研究成果の発表とあわせて、後輩へエールが送られました。虎舞が広まった経緯、なぜ虎だったのかなどが詳しく整理されており、多くの生徒の研究活動の参考になる立派な発表でした。

理数科2年生の発表では、先日校内で行われた理数科課題研究発表会でもっとも高い評価を得た化学班が発表を行いました。地元の特産品である甲子柿を用いて、抗菌作用をもつ柿タンニン濃度が部位によりどのように異なるのかについて研究した内容です。甲子柿を利用した商品開発につなげることができれば地域活性につながるのではないかという願いも込められた素晴らしい発表でした。

また、「世界津波の日」高校生サミットへ参加した生徒から、高校生サミットへの参加報告と、防災教育のありかたについて自分たちで研究した内容について発表を行いました。身をもって体験した内容を踏まえての発表であり、多くの生徒が自分のこととしてとらえ、真剣に発表を聴いていました。「高校生でもできること、高校生だからこそできることがたくさんある」として、今後も釜石の防災教育を伝え続けていきたいことなどが発表されました。

ポスターセッションでは来場いただいた多くの方々を前に、どのグループも、一生懸命に研究内容の発表を行っていました。各ポスターの前には多くの人だかりができており、あまりの熱気で会場の窓ガラスが曇ってしまうほどでした。



口頭発表会場



地歴公民（高橋ゼミ）の発表



理数科化学班の発表



高校生サミット参加報告



ポスターセッションのようす



普通科（文系・芸術・家庭）ゼミのようす



普通科理系・理数科ゼミのようす



釜石高校 SSH  
Facebook